

財務諸表の作成にあたって

本町では、町財政の状況を把握するため、経常収支比率や公債費負担比率などの指標により分析を行うとともに、年2回、予算の執行などの財政状況を町広報紙によりお知らせしているほか、平成11年度からは普通会計の貸借対照表の公表も行っています。

また、住民の皆さんに、よりわかりやすく財務情報を提供し、住民と行政との情報の共有化を図るとともに、財政の透明性を高めるため、貸借対照表とともに、行政コスト計算書も作成しています。

貸借対照表が町の資産と負債の状況を明らかにするのに対し、行政コスト計算書は、人的サービスや給付サービスなど、資産の形成につながらない行政サービス活動のコスト（費用）を明らかにしようとするものです。

平成19年度決算の貸借対照表

貸借対照表とは

貸借対照表は「資金の源泉と用途を表す」ことを主眼としています。

「借方」が資金の用途、つまり資金を運用して形成してきた資産を表しており、「資産」の種類は「有形固定資産」、「投資等」、「流動資産」に分かれます。

「貸方」が資金の源泉、つまり資産を形成するために使われた財源を表しています。大きく「負債」と「正味資産」に区分され、「負債」は「固定負債」と「流動負債」からなっています。「正味資産」は「国庫支出金」、「県支出金」、「一般財源等」に分かれています。

用語の解説

(1) 資産の部

資産は、将来にわたって住民にさまざまな行政サービスを提供するための経営資源です。

(ア) 有形固定資産

道路・住宅・公園等のほか、学校や文化振興センターなどの建物等です。

貸借対照表には、減価償却実施後の金額を計上しています。土地は減価償却を行っていません。

(イ) 投資等

水道企業会計及び公益事業を営む財団法人などへの出資金、福祉や都市計画事業、文化振興などを目的とした特定目的基金や、土地開発基金などの定額運用基金です。

(ウ) 流動資産

基準日に保有している現金及び預金（財政調整基金及び減債基金を含む）と町税等で年度内に収入されなかった未収金です。

(2) 負債の部

負債は、住民の負担として将来にわたって返済（償還）していくものです。

(ア) 固定負債

町債の翌々年度以降の償還（返済）予定額です。

債務負担行為は、資産として物件等の引き渡しを受けたもので支払がまだ終了していないものや、町が債務保証・損失補償を行なっているものについて、支払義務が発生した場合に計上します。

また、退職給与引当金は、年度末に職員全体が普通退職したと想定して、その要支給額を引当計上します。

(イ) 流動負債

町債の翌年度の償還（返済）予定額です。

翌年度繰上充用金は、翌年度の歳入を充てることができる制度ですが、該当はありません。

(3) 正味資産

正味資産は、資産のうち税等により、これまでの世代によって既に負担された額で、資産形成に使われた国・県支出金と町税等の一般財源等に区分して表示しています。

借方 (お金を何に、いくら使ったか)	貸方 (お金をどこから、いくら集めたか)
<p>資産</p> <p>①建物・土地 学校・道路・庁舎・清掃施設・公園など</p> <p>②その他の資産 出資金・貸付金・基金・現金など</p>	<p>負債 将来にわたって返済していく額</p> <p>①町債（町の借入金）</p> <p>②債務負担行為（将来の支払義務があるもの）</p> <p>③退職給与引当金（町職員の退職金見込額）</p> <p>=</p> <p>正味財産 これまでの世代で既に負担された額</p> <p>①国・県からの負担金</p> <p>②一般財源等</p>

平成19年度決算の貸借対照表の内容

貸借対照表作成基準	
作成の手法	総務省から出された「地方公共団体の総合的な財政分析に関する調査研究会報告書(平成13年3月)」の手法を基本に作成しています。
対象	普通会計(下水道事業などの特別会計は含まれていません。)
作成基準日	平成20年3月31日
基礎数値	昭和44年から平成19年度までの「地方財政状況調査」のデータを基に作成しています。
建物の評価額	取得当時の建設費を基準に国が示す耐用年数に基づいて減価償却しています。
土地の評価額	取得当時の価格で評価しています。

平成19年度の貸借対照表では																															
(1)	昭和44年度から平成19年度まで(39年間)において、形成してきた本町の資産は「417億7千万円」となります。																														
(2)	有形固定資産(377億2千万円)の行政目的別内訳 形成してきた資産を行政目的別に大きいものから5つあげますと、 教育費(学校、社会教育施設など) 164億8千万円 土木費(道路、住宅、公園など) 142億9千万円 民生費(保育園、地域福祉施設など) 24億2千万円 衛生費(清掃施設、火葬場など) 20億5千万円 総務費(庁舎など) 12億円 の順となっています。																														
(3)	資産のうち25.7%に当たる107億3千万円が負債(将来わたって返済していく額)により形成され、残り310億4千万円が正味財産(これまでの世代で既に負担された額)により形成されています。																														
(4)	社会資本形成の世代間負担比率 本町がこれまでに生み出してきた資産(有形固定資産)は、町税や国・県支出金、町債などで形成してきました。このうち、まだ返済が終了していない町債(借金)などの負債(将来の負担)で形成されているものと、町税、国・県支出金など借金以外で形成されているものとに分けて考えることができます。この社会資本形成(有形固定資産)の財源が負債によるのか、正味財産によるのか、その依存割合を見ることで世代間負担の指標となります。																														
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">正味資産合計</td> <td style="text-align: center;">→</td> <td style="text-align: center;">31,043,528千円</td> <td style="text-align: center;">=</td> <td style="text-align: right;">82.3%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">有形固定資産合計</td> <td></td> <td style="text-align: center;">37,724,684千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">(これまでの世代による社会資本の比率、高いほど良い)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">負債合計</td> <td style="text-align: center;">→</td> <td style="text-align: center;">10,725,932千円</td> <td style="text-align: center;">=</td> <td style="text-align: right;">28.4%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">有形固定資産合計</td> <td></td> <td style="text-align: center;">37,724,684千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">(後世代による社会資本の比率、低いほど後世代の負担が少ない)</td> </tr> </table>	正味資産合計	→	31,043,528千円	=	82.3%	有形固定資産合計		37,724,684千円					(これまでの世代による社会資本の比率、高いほど良い)			負債合計	→	10,725,932千円	=	28.4%	有形固定資産合計		37,724,684千円					(後世代による社会資本の比率、低いほど後世代の負担が少ない)		
正味資産合計	→	31,043,528千円	=	82.3%																											
有形固定資産合計		37,724,684千円																													
		(これまでの世代による社会資本の比率、高いほど良い)																													
負債合計	→	10,725,932千円	=	28.4%																											
有形固定資産合計		37,724,684千円																													
		(後世代による社会資本の比率、低いほど後世代の負担が少ない)																													
(5)	一人当たりの貸借対照表 住民一人当たりでは、次のようになります。(平成20年3月31日現在人口28,553人) 一人当たりの資産合計 146万円(前年度 142万円) " 負債合計 38万円(" 34万円) " 正味資産合計 109万円(" 108万円)																														